



我が県土
支え育む
希望郷

美しい

県土づくりNEWS

2018年

2月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第163号
平成30年2月28日発行
編集 県土整備企画室

目次

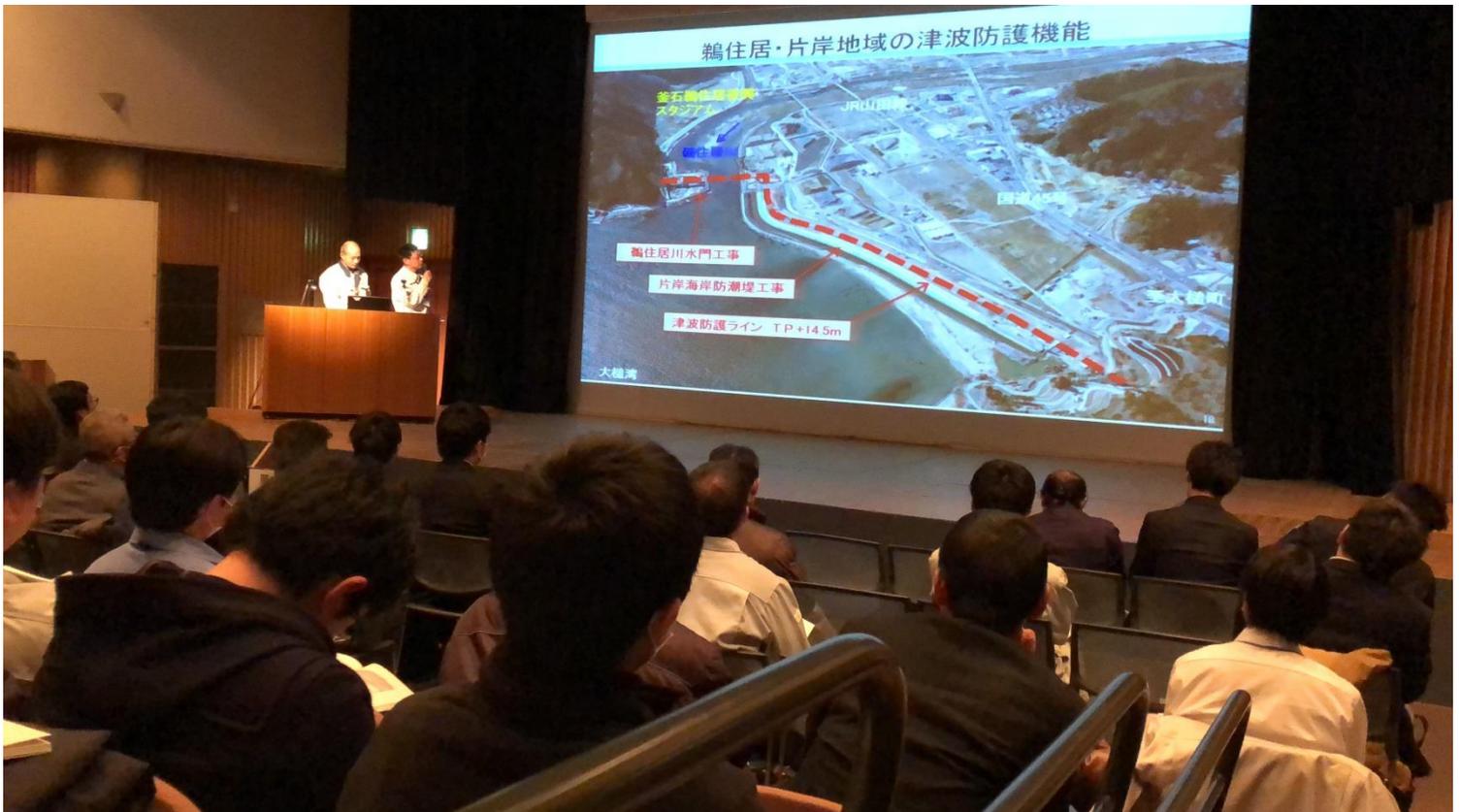
- 2 平成29年度復興県土づくりシンポジウムを開催しました！
- 5 「いわてポートセミナー2018」を開催
- 6 いわてリノベーションシンポジウム開催報告
- 7 けんせつ小町部会第2回会議を開催～建設産業における女性活躍に向けて～
- 9 平成29年度優良建設関連業務表彰式を開催しました！
- 11 第14回土木合同セミナーを開催しました！
- 12 復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！
～【第4回】道の駅と連携した地域創生拠点の形成～



三陸復興

震災復興とその先を見据え、土木技術職員の技術を研鑽 ～平成29年度復興県土づくりシンポジウム～

平成30年1月25日から26日までの2日間、東日本大震災津波からの復興に向けた成果を共有するとともに、自治体職員や公社等職員の技術力の研鑽と向上を図ることを目的として、「復興県土づくりシンポジウム」を開催しました。



沿岸広域振興局土木部奥平主査（東京都派遣）、植田主査（静岡県派遣）から、釜石管内の海岸保全施設の整備状況について説明

『復興県土づくりシンポジウム』を開催しました！

～第3期復興期間「更なる展開への連結期間」の取組～

県土整備企画室
建設技術振興課

1日目は、技術力研鑽と向上を目的とした県内の土木技術に関する発表会を行いました。2日目は、「生産性向上に向けた i-Construction の推進」をテーマに、東北地方整備局企画部技術調整管理官による講演と、広報・施工・測量設計・建設機械販売・発注者が一堂に会したパネルディスカッションを行いました。シンポジウムには応援職員を派遣していただいている都県の職員も含め約160名が参加し、復興からの更なる展開を見据え思いを新たにしました。



開会挨拶（中野県土整備部長）



パネル展示



講評（沖野技術企画指導課長）

1日目：土木技術研究発表会

○**築川ダムの広報活動について** 築川ダム建設事務所 主査 岩館 晋
地域住民等の理解促進のための広報活動の概要を発表いただきました。出前授業等を行ったことで、中野小学校では学習発表会の題材となりました。発表会の動画も厳選して紹介していただきました。



○**盛岡駅前広場交通改善の取組について** 盛岡市建設部道路建設課 道路第一係長 大丸篤志
平成26年度から平成29年度にかけての盛岡駅東口の改善事業について報告いただきました。各年度に実施した取組のほか、整備後の課題や、マスコミに取り上げられた記事など、丁寧に御説明いただきました。



○**特別講話「南部美人の挑戦」** 株式会社南部美人代表取締役社長 久慈浩介
南部美人の世界一への挑戦、FIFA ワールドカップへの挑戦、ファーストクラスへの挑戦、世界初！糖類無添加梅酒への挑戦、海外への挑戦のほか、部下との接し方についても、軽妙にお話しいただきました。



○旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎の利活用について 建築住宅課 主査 梶谷 祐介
歴史ある官舎の意匠を生かしながら、耐震性の確保、換気設備等の設置、避難設備等の設置、断熱改修、通気・防湿対策、防虫対策を施し、整備コストの縮減まで気を配った改修内容を紹介いただきました。



○釜石港におけるガントリークレーンの整備について 沿岸広域振興局土木部 主任 河野 誠
復興支援として大阪府から岩手県へ無償譲渡していただいたガントリークレーンについて紹介いただきました。釜石港で一般貨物コンテナ取扱量が県内最多を更新したことも紹介いただきました。



○釜石管内の水門防潮堤の整備状況報告～「ラグビーワールドカップ2019釜石開催に向けた取り組み」など～
沿岸広域振興局土木部 主査 奥平 周二(東京都派遣)、植田 勝久(静岡県派遣)
釜石管内の水門防潮堤の整備状況について紹介がありました。平成31年度に開催予定の三陸防災復興博(仮称)やラグビーワールドカップを控え、津波防御機能の早期発現に向けた取組を説明していただきました。



○岩手県と青森県の違いについて～河川災害と日常業務(出先機関)に関して～
県北広域振興局土木部 技師 小笠原 繁行(青森県派遣)

岩手県と青森県の違いの紹介いただきました。災害の実例による比較や、入札制度の違い等、根拠データを示して詳細に説明していただきました。



○台風10号の滝ダム洪水対応について 滝ダム管理事務所 技師 菊池 雄介
平成28年8月28日から8月31日にかけての豪雨対応について紹介いただきました。降雨予測を基にした事前点検の実施、岩手県営ダムで初のただし書操作への予測資料事前提出等、事前準備の重要性を示しました。



○詔石橋災害復旧事業における3次元を活用した施工・景観シミュレーション 陸前高田市建設部建設課道路河川係 技師 鳥居 寿人
東日本大震災により全橋が被災したものの、地域住民の要望により復旧工事が決定した詔石橋の設計について、3次元データの作成や施工計画及び景観のシミュレーションを行った事例紹介がありました。



○法面工事におけるICT技術の活用事例 二戸土木センター 技師 村松 達也
ICT施工の実例について紹介がありました。ICT実務者意見交換会(国土交通省主催)に出席した際、国も請負業者も本気になってICT施工に取り組む熱意を感じた経験など、2日目に繋がる発表内容でした。



2日目：講演・パネルディスカッション～生産性向上に向けた i-Construction の推進～

講演「建設業を取り巻く最近の動向について」

【講師】国土交通省東北地方整備局 永井浩泰 技術調整管理官

【主な内容】

1. 建設業をとりまく現状について

① 建設産業における働き方改革等

建設業界が若者にとって魅力的な産業となるよう、働き方改革をはじめとした取組が必要。

(参考：国土交通省「建設産業政策 2017+10」)

② 建設生産システム全体における生産性向上

国土交通省では、i-Construction トップランナー施策として「ICTの全面的な活用 (ICT 土工)」、「全体最適の導入」、「施工時期の平準化」を推進。ロードマップを策定し、今後取組を拡大、充実させていく。

2. 東北地方整備局の取組

東北地方整備局では、平成28年度から「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」を推進。

多様な主体により構成される「東北復興 i-Construction 連絡調整会議」の開催や、「ICT活用工事推進『見える化』プロジェクト」、「ウェアラブルカメラを活用した現場監督業務の効率化」などに取り組んでいる。



パネルディスカッション

【主な意見】

■ 受注者の課題

- ICT技術の導入に当たっては、高額な機器、日進月歩で更新される技術への対応などが課題。
- 今後、推進する企業と様子見する企業とで、二極化していくのではないかと。
- 新しい技術を導入すること自体が目的になっていないか。効率化や就業環境の改善など本来の目的を見失わないことが重要。

■ 発注者の課題

- 電波が届かない現場環境や中小規模の工事など、地域によって異なる特性を考慮すべき。
- 3次元データなど規格の統一や公共事業支援統合情報システムの検証などを進めていく必要がある。
- 国の基準を全てとするのではなく、現場によって柔軟に判断できることが重要。様々な立場からの意見を聞いて課題解決を検討していきたい。
- 各市町村の首長にも関心をもっていただくなど、自治体での準備態勢を整えることが大事。

■ 人材育成・担い手の確保

- ドローンや機械化施工など、GNSS（全地球型測位システム）の知識を必要とする場面が多い。問題が起きた時に対応できるGNSSの基礎知識が必要。
- CAD技術、ソフトウェア技術、無線通信技術など、これまでの現場にはなかった新たな技術が求められている。これらは、学生が即戦力になれる分野でもある。
- 若い方に建設業界へ目を向けてもらうためには働き方改革が必要。建設業が変わっていくというアピールだけではなく、受け入れる企業の準備・意識変化も重要。
- (i-Construction等建設業の取組について)情報の発信を積極的にやるべき。今回のような機会を通じて、なぜやらなければならないのか、一般の方々も含めて知ってもらうことで、建設業への理解向上・地位向上につながる。

【出演者】

コーディネーター：

宮野 裕子 氏 (株式会社日刊岩手建設工業新聞社 代表取締役社長)

パネリスト：

- ① 向井田 岳 氏 (一般社団法人岩手県建設業協会 副会長)
- ② 村上 功 氏 (一般社団法人岩手県測量設計業協会 理事)
- ③ 鈴木 勇治 氏 (一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部 情報化施工技術委員会委員長)
- ④ 永井 浩泰 氏 (東北地方整備局企画部 技術調整管理官)
- ⑤ 八重樫弘明 (岩手県県土整備部 河川港湾担当技監)



左から、宮野コーディネーター、向井田氏、村上氏、鈴木氏、永井氏、八重樫技監

「いわてポートセミナー2018」を開催

港湾課



当日は昨年を大きく上回る約230名に出席頂きました

平成30年2月7日（水）、東京都内で「いわてポートセミナー2018」を開催しました。

本セミナーは、首都圏の荷主企業や船社等に向けて、本県港湾の利活用や臨海部工業用地への企業立地を強くPRするために実施しているもので、今回で16回目の開催となります。

冒頭、達増知事が「世界を結び 未来を拓く いわての港」と題し、東日本大震災津波からの復旧復興状況や本県港湾の利活用促進に向けた取組などを紹介した後、遠藤久慈市長、山本宮古市長、野田釜石市長及び戸田大船渡市長が、各市所在港湾の概要やセールスポイントなどをPRしました。

本県初のフェリー就航やガントリークレーンの整備、クルーズ船誘致活動など、現在取り組んでいるトピックスを紹介し、港湾の活性化を通じてふるさと振興を図っていくことを強力にアピールしたところです。

当日は、約230名の参加をいただき、本県港湾の利活用促進に向けた取組に熱心に耳を傾ける姿が見られました。また、セミナー終了後の情報交換会では、参加企業と本県港湾関係者による積極的な情報交換が行われ、本県港湾の一層の活性化を期待させるセミナーとなりました。

主催：岩手県

共催：岩手県港湾協会、久慈湾総合開発促進協議会、宮古港利用促進協議会、釜石港湾振興協議会、大船渡港振興協会



達増知事プレゼンテーション



遠藤久慈市長プレゼンテーション



山本宮古市長プレゼンテーション



野田釜石市長プレゼンテーション



戸田大船渡市長プレゼンテーション



情報交換会の様子

いわてリノベーション シンポジウム

開催報告【建築住宅課】

平成30年1月31日(水)

岩手県公会堂大ホール



このシンポジウムは、空き家や空き空間を有効活用することによりその周辺エリアの活性化にもつなげる「リノベーションまちづくり」や、公民連携によるまちづくりを推進するために開催したものです。

今回は、これまでリノベーションスタディでもテーマとしてきた、公共施設や公園・道路等の公共空間の遊休化という課題に焦点を当て、そのリノベーションを通じたエリア価値向上の可能性について発信することを目的としました。

まず、国土交通省東北地方整備局建政部の鈴木武彦都市調整官から、主に公園の活用方法について、大阪城公園でのイベント開催をはじめ、全国の先進事例について御紹介いただくとともに、Park-PFI 制度等の国の施策について御説明をいただきました。

次に、一般社団法人公民連携事業機構の岡崎正信理事を進行役に、同機構の清水義次代表理事、同じく木下斉理事、鈴木武彦都市調整官、二戸市の五日市寿丸副主幹によるトークセッションを行いました。

トークセッションでは、公共空間が変わることによる周辺への波及効果や、二戸市における金田一温泉センターを含む都市公園のリノベーションの具体的事例の他、ILCを誘致するにあたってのまちづくりの方策や、まちづくりをするための自分の磨き方にまで話が及び、200名を超える参加者に、動き出すための情報や勇気を与えていただきました。

このシンポジウムをきっかけにして、県内にいたるところで、リノベーションされた公共空間を核とした魅力的なまちが生まれることを期待しています。



■トークセッション



■鈴木武彦都市調整官による講演

けんせつ小町部会第2回会議を開催 ～建設産業における女性活躍に向けて～

建設技術振興課

平成30年2月5日（月）、いわて女性の活躍促進連携会議に設置された5部会の一つである「けんせつ小町部会」の第2回目となる会議を開催しました。

会議では、部会における平成29年度の実績、けんせつ小町ネットワーク（SNS方式）の利用促進、今後の取組の方向性について事務局から報告し、意見交換を行いました。

意見交換では、けんせつ小町ネットワーク（SNS方式）の実績の在り方や女性の就業環境の現状課題等について活発な意見交換が交わされました。

今後、これらの意見を踏まえ、女性の活躍支援のための総合的な取組について検討していきます。

1 会議の目的

けんせつ小町部会における平成29年度の実績についての検証並びに今後の取組の方向性についての検討及び意見交換を行い、建設産業界における女性活躍支援のための総合的な取組に反映させる。

2 会議の概要

- (1) 日時 平成30年2月5日（月） 13時30分～15時30分
- (2) 場所 エスポワールいわて1F小会議室
- (3) 出席者 (一社)岩手県建設産業団体連合会 木下会長ほか女性委員8名

3 会議での主な意見

- ・ SNSでの交流は、進行役を決めて、流れを作りながら交流を進めていく必要がある。また、悩みを打ち明けるといっても楽しい場とした方がよい。
- ・ 女性マネジングスタッフ協議会主催の女性交流会は、お茶会なども開催し好評である。ネット上の交流だけでなく、面と向かって交流するのもいいのではないか。
- ・ SNS（内部交流）、HP（外部向け）、ブログ（日記）は全く別物であり、目的によって使い分ける必要がある。
- ・ 若い女性が入職しても、家庭・子育てとの両立等から働き続けることは大変。業界全体が働く女性への理解を深めていかなければならない。

4 平成29年度における取組及び今後の方向性

	取組内容	今後の対応等
第1回会議 (7月25日)	<p>《意見交換時の課題等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ・更衣室・休憩室の整備が不十分。 ・経営者や男性社員の意識が変わらないと取組進まず。当部会の取組周知が重要。 ・結婚・出産・育児と仕事を両立できるかが課題。そのバックアップ体制を業界で確立できるかが大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議での意見を踏まえた取組内容を検討。
けんせつ小町ネットワーク (SNS方式)による交流 (7月下旬～)	<ul style="list-style-type: none"> ・けんせつ小町ネットワーク(SNS方式)の開設 (参加申請による登録制) ・参加者16名(平成30年1月時点) 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者少なく、交流状況が低調 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の再募集・公開型(非承認制)の運営方法の検討・常設サイトの開設
現場見学会 (8月30日)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性だけの現場見学会としては岩手県初の試み。参加者55名。 <p>《意見交換時の課題等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生面の向上・勤務体制の改善 ・イメージアップの必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍状況のさらなる情報発信に向け、対象者を親子、学生等に拡大することを検討。
講習会及びセミナー (11月6日)	<p>(1) ロールモデル講習会 講師：(一社) ソーシャルテクニカ 代表理事 田村裕美氏 自身の足跡から、今後の建設産業における女性の活躍を支援していく上での課題や取組の方向性等について、海外の視点も踏まえての講演内容。参加者57名</p> <p>(2) ICT技術体験型セミナー ・ドローン・3次元ソフト・VR・マッスルスーツ 《意見・要望》 ・男性社員や経営者に対する同様の内容による講習会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男性社員や経営者に対して意識改革を促す内容による講習会開催の検討 ・ICT研修会等の開催



会議の状況

平成29年度優良建設関連業務表彰式 を開催しました！！

～優良建設関連業務表彰・優良技術者表彰～

建設技術振興課

平成30年2月13日、岩手県水産会館で平成29年度「優良建設関連業務表彰」と「優良技術者表彰」を行い、中野県土整備部長から表彰状の授与を行いました。

この優良建設関連業務表彰制度は、県土整備部、広域振興局土木部等が発注した建設関連業務のうち、業務成績が優秀で、他の模範となる業務を履行した受注者及び管理技術者を表彰することにより、建設関連業務の技術の向上による公共工事の品質の確保を図ることを目的として、平成27年度に創設したもので、今回の表彰が第3回目となります。

今回の表彰対象は、平成28年度に完了した建設関連業務のうち、委託業務成績評定要領に基づき成績評定を行った業務（県内に本店又は営業所を有する受注者に限る。）で、県土整備部優良建設関連業務表彰委員会における審議を経て、優良建設関連業務26件24者、優良技術者26名が被表彰者として選定されました。

表彰式には、受賞企業の代表者等が多数出席し、受賞者の優れた業績をたたえました。

H29 優良建設関連業務表彰式の様子



受賞者代表挨拶



優良建設関連業務表彰受賞者

【平成29年度優良建設関連業務表彰一覧】

	優良建設関連業務表彰 【受注者〔所在地〕】	優良技術者表彰 【管理技術者】	表彰業務名	発注公所
【 測量 】（4件）				
1	(株)エヌティーコンサルタント 〔盛岡市〕	菊池 晴圭	二級河川気仙川ほか流量観測業務委託	住田整備事務所
2	アジア航測(株) 〔東京都〕	大久保 広利	高田松原津波復興祈念公園測量業務委託	大船渡土木センター
3	北栄調査設計(株) 〔矢巾町〕	渡部 崇	北上川上流流域下水道鶯宿幹線5工区測量業務委託	下水道事務所
4	(株)総合土木コンサルタンツ 〔一関市〕	原田 真吾	主要地方道紫波江繋線遠山地区測量業務委託	盛岡広域振興局土木部
【 建築関係建設コンサルタント 】（2件）				
1	(株)久慈設計 〔盛岡市〕	吉田 司	宮古港藤原地区藤原ふ頭津波避難ビル新築工事設計業務	建設住宅課
2	(有)白浜建築設計事務所 〔盛岡市〕	岩瀬張 真慶	海岸環境整備事業浦の浜地区管理棟新築工事監理業務	建設住宅課
【 土木関係建設コンサルタント 】（14件）				
1	三井共同建設コンサルタント(株) 〔東京都〕	髙田 佐俊	一般国道456号口内～広瀬地区道路概略設計業務委託	県南広域振興局土木部
2	(株)パスコ 〔東京都〕	向平 拓司	北上川圏域土砂災害防止法基礎調査及び情報基盤図整備(砂防基盤図)業務委託	盛岡広域振興局土木部
3	(株)建設技術研究所 〔東京都〕	二階堂 竜司	岩手県緑の防潮堤計画検討業務委託	河川課
4	(株)昭和土木設計 〔矢巾町〕	牧野 仁	一般県道玉里梁川線梁川地区道路概略設計業務委託	県南広域振興局土木部
5	(株)総合土木コンサルタンツ 〔一関市〕	千葉 健二	一級河川砂鉄川筋流矢地区ほか河川詳細設計業務委託	千厩土木センター
6	日本工営(株) 〔東京都〕	松山 公年	岩手県橋梁長寿命化修繕計画更新業務	道路環境課
7	(株)東京建設コンサルタント 〔東京都〕	浅沼 隆	主要地方道重茂半島線大沢～浜川目地区道路環境調査業務委託	宮古土木センター
8	玉野総合コンサルタント(株) 〔愛知県〕	山田 圭介	一般県道崎山宮古線鎌ヶ崎地区道路詳細修正設計業務委託	宮古土木センター
9	(株)東開技術 〔奥州市〕	及川 清一	県北広域振興局土木部管内道路建設事業発注者支援業務委託	県北広域振興局土木部
10	八千代エンジニアリング(株) 〔東京都〕	貫井 明	遠野ダムほかダム総合点検及び長寿命化計画策定等業務委託	遠野土木センター
11	(株)豊水設計 〔北海道〕	中右 利彦	一級河川砂鉄川筋松川地区内水対策施設詳細設計業務委託	千厩土木センター
12	(株)福山コンサルタント 〔福岡県〕	小尾 武彦	一般国道106号宮古西道路事業監理等(CM)その2業務委託	宮古土木センター
13	(株)タックエンジニアリング 〔盛岡市〕	千葉 一博	御所湖広域公園矢櫃地区水辺園地ほか公園台帳整備業務委託	盛岡広域振興局土木部
14	(株)一測設計 〔一関市〕	田野崎 充	一級河川中居川筋外川目地区河川測量設計業務委託	花巻土木センター
【 地質調査 】（1件）				
1	(株)菊池技研コンサルタント 〔大船渡市〕	久保田 光喜	一般国道343号坂下地区道路法面崩落対策調査測量設計業務委託	大船渡土木センター
【 補償関係コンサルタント 】（5件）				
1	サンエスコンサルタント(株) 〔盛岡市〕	山崎 亨	一般国道284号石法華地区事業認定申請図書作成業務委託	一関土木センター
2	(株)東開技術 〔奥州市〕	千葉 肇	一級河川和賀川沢内地区多数権利者処理業務委託	花巻土木センター
3	(株)北日本朝日航洋 〔盛岡市〕	野田 幸夫	花巻空港周辺(支障木)調査業務委託	花巻空港事務所
4	東日本測量設計(株) 〔盛岡市〕	高橋 泰生	一般県道遠野住田線新里地区用地測量業務委託	遠野土木センター
5	東北エンジニアリング(株) 〔滝沢市〕	工藤 由次	主要地方道重茂半島線赤前地区裁決申請書等作成業務委託	宮古土木センター

第14回土木合同セミナーを開催しました！

テーマ「台風第10号災害からの復旧」

～被災現場の官民一体となった取組～

土木合同セミナー実行委員会事務局盛岡広域振興局土木部
平成30年2月14日（水）、「エスポワールいわて」において、第14回土木合同セミナーを開催しました。行政、建設業、測量設計業など各団体から252名の参加をいただきました。

セミナーでは、発災から1年5か月余りが経過した台風第10号災害からの復旧復興をテーマに、岩泉土木センター管内の取組と課題について報告をいただきました。



平成28年台風第10号豪雨災害からの復旧復興の取組み

沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター 鎌田 進 所長

道路及び河川災害復旧事業の概要、小本川及び安家川河川改良復旧事業の整備方針、砂防事業の概要を報告。

全国的にも事例の少ない流木捕捉工の水理模型実験の実施を紹介。

監督職員への支援体制の強化、高い水準で推移している入札取止率、小本川・安家川河川改良復旧事業で発生する掘削残土置場の確保が課題。



災害発生時の初動調査から設計計画まで

株式会社吉田測量設計 吉田 大将 設計部長

岩泉町内における初動調査から設計計画までの災害対応について、工夫と課題を紹介。

従来の初動調査はひとに頼った方法で、災害が激甚化・頻発化し、技術者が高齢となった現在においては対応が困難。現地での情報共有には官民の連携が必要。また、ICT技術など新技術の活用も必要。



安家川改良復旧事業への取組みについて

株式会社昭和土木設計 鈴木 浩行 IT/IT外事業部統括部長

安家川河川改良復旧事業の整備方針を報告。

地域の人々に愛され、大切に守られてきた安家川の改良復旧計画における景観に配慮した川づくり、親水性に配慮した川づくりを紹介。

安家川が地域の誇りであるからこそ、地域社会や個人の生活環境への影響を極力抑えるよう配慮。

画像提供：(株)日刊岩手建設工業新聞社

【主催】土木合同セミナー実行委員会

【構成団体】岩手県盛岡広域振興局土木部、(公財)岩手県土木技術振興協会、(一社)岩手県建設業協会盛岡支部、(一社)岩手県測量設計業協会、(一社)岩手県土木技術センター、(株)日刊岩手建設工業新聞社

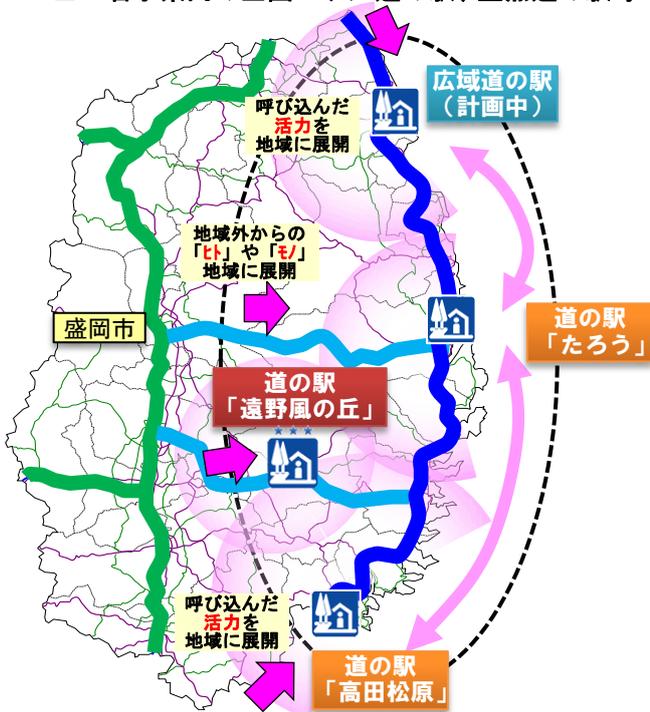
復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！

【第4回】道の駅と連携した地域創生拠点の形成

岩手県内の「道の駅」

- 県内には現在 32 箇所の「道の駅」が開業しており、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供のみならず、地域間の交流、観光振興、防災拠点としても広がりを見せています。
- 県内の道の駅から、全国モデル道の駅に「遠野風の丘」、重点道の駅に「高田松原」、「たろう」が選定されています。

■ 岩手県内の全国モデル道の駅、重点道の駅等



重点道の駅「たろう」
 3/21 開通の三陸沿岸道路（仮称） 田老第 2 IC 近接
 漁業の復興・再生の拠点。三陸沿岸地域のゲートウェイとして、観光資源の情報発信を担う。



全国モデル道の駅「遠野風の丘」
 東北横断自動車道釜石秋田線 遠野 IC 近接
 全国 6 例のみの全国モデル道の駅に選定される。広域防災拠点として高度な防災機能を分担。



重点道の駅「高田松原」
 H30 年度開通の三陸沿岸道路（仮称） 長部 IC 近接
 高田松原津波復興祈念公園と一体となった整備が進み、三沿道の活用した東京・仙台方面からのゲートウェイとしての役割。

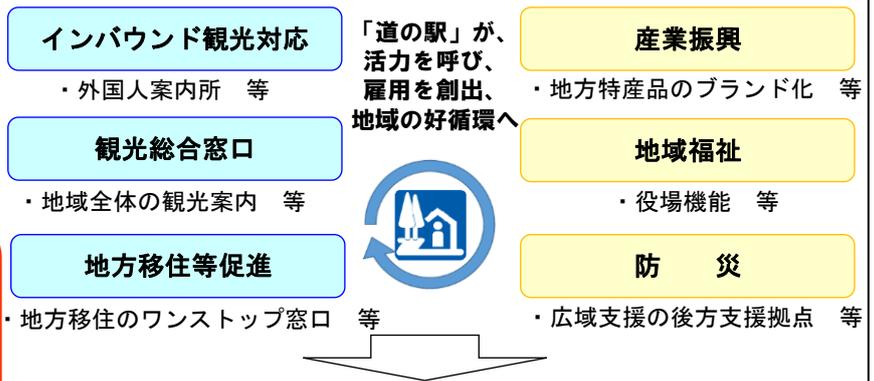


復興道路と「道の駅」の連携によるストック効果

「道の駅」が復興道路等と連携し、新たに生まれる交流・連携による**地域外からの活力を地元呼び込むゲートウェイ**として機能します。

「道の駅」が地域の活力を呼び込み、雇用の創出など好循環をもたらし、**地域創生拠点を形成**します。

■ 「道の駅」に期待される様々な機能



『道の駅』による地域創生拠点の形成

